

令和元年度 学校関係者評価

評価者:古市 博信

評価日:令和2年3月2日

【教育課程・指導について】

開園以来ずっと園の建学の精神(知・徳・体と心身ともに調和のとれた人格を育てる)を貫き園経営をされています。少子化のなかにあつて、園児数が安定しているのは、幼稚園の建学の精神、教育方針、先生方の日々の保育が保護者の方々に支持され高い評価を得ているからだと思います。

道伯幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園ともに教職員の皆さんが日々熱心に保育指導・援助をされています。事前保育内容を幼児一人ひとりの発達を把握し、日々の保育の中できちんと指導がなされるように話し合つて作成するようにしています。また、保育終了時には反省や見直しを行っています。日々の保育計画を教職員間でしっかり話し合い、話合つたことを実践することは組織にとってとても重要なことです。

幼小連携では、幼小の途切れのない円滑な接続の工夫に取り組んでいることは素晴らしいことです。実際に小学校の様子を見学されたり、小学校の先生と話し合いをされています。とても大切なことで評価できます。

【組織運営について】

保育参観や絵画展に参加させていただきました。一人ひとりの先生が一生懸命に保育をされています。子どもたちも熱心に活動に参加しています。作品もどれも非常に良くできています。その反面、多くの先生が多忙で時間に追われているように思われます。日々の保育・学園行事等に追われ余裕がなくなっているのではないかと心配します。子どもたち一人ひとりが園生活を楽しむためには、教師も園児たちも余裕、ゆとりが必要です。

前年度の関係者評価で、幼児教育の無償化にともなう対策、カリキュラムの精選、園行事のスリム化、人的配置など、理事長、園長、教職員で検討し、前年踏襲ではなく、改善されるべきものは改善することが必要ですと意見を言わせていただきました。今年度、両園とも全体会議、主任会議、幹部会議、ミーティングなどで改善すべきところは改善をし取り組んできたことは、とても重要なことで、高く評価できます。特に両園間の保育の確認、毎日のミーティングでの職員間の共通理解は大変有意義な取り組みです。先生方の園児目線での取り組み、保育への情熱を感じます。

働き方改革の面では、働きやすい環境、職場の民主化をさらに進めていっていただきたい。

【資質向上の取組について】

道伯幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園ともに年度初めに園の本年度の評価目標と取組状況を全職員の共通理解のもとで作成しています。その上で個人の目標とも照らし合わせて具体的な自己目標・自己点検表を教師が作成しています。

作成にあたって教師は、日々の取組みのなかにおいて教師自らが具体的な目標をたてることです。目標は、園の取り組むべき内容、学年、学級の取り組むべき内容に沿って考え、評価がしやすいものにする。そして事前・事中・事後の話し合いを主任、同学年担任でなされるとよいでしょう。

年度末の自己評価は資質向上の取組みとして大切なものです。園全体に関する教育活動やサービス状況については、理事長、園長、全職員での成果と課題、今後の取り組むべき内容として把握しておかないと評価の意味がありません。

自己評価公表シートと自己評価・自己点検表、関係者評価を次年度の園経営、日々の保育に活かしていただきたい。

評価者:古市 隆英

評価日:令和2年3月27日

【教育課程・指導】建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況について

(道伯幼稚園)

各学年で、年度当初に設定した教育目標を意識しながら、毎日の保育を振り返り、また、園の建学の精神について職員間で共通理解を図り、カリキュラムを検討しながら、より活発に意欲的に取り組む工夫が成されていた。

(みずきが丘道伯幼稚園)

幼稚園の建学の精神「知・徳・体 調和のとれた人間の形成」に基づき、それぞれの学年、年齢にあった目標を定めて、日々の保育に努められていた。また、教育目標について職員間で話し合い、教育目標を意識し、日々の保育に努力されていた。

【教育課程・指導】幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況

(道伯幼稚園)

この項目は、今年度の研修発表のテーマになっていたため、実際に小学校を訪問し、卒園児の様子を見たり、先生の意見を聞く等、幼小連携につながる工夫がなされていた。

(みずきが丘道伯幼稚園)

幼稚園から小学校への円滑な接続を行うために、各小学校の先生に来ていただき、幼稚園での園児の様子を見ていただき、園児が小学校での環境にスムーズに対応できる工夫が取り入れられていた。

【組織運営】 職員会議等の運営状況

(道伯幼稚園)

職員の全体会議は、各学期の始めと終わりに1回、主任会議と幹部会議は1回開催し、議題については事前に準備し、各会議の内容も議事録に記載され、毎日の保育終了後にミーティングを行い、次の日の予定や連絡事項を話し合い、適切な職員会議の運営がなされていた。

(みずきが丘道伯幼稚園)

毎月、主任会議を行い、各学年の保育の反省や計画、保育内容について話し合い、前年度の反省等を踏まえ、改善点を見つけ、次年度への保育の取組に繋げる取組が行われていた。

【資質向上の取組】

(道伯幼稚園)

各職員が、年度初めに、それぞれ担当する学年・年齢に合った園の教育目標を理解し、自己評価目標を定め、日々の保育に努め、学年末に、自ら自己反省をし、目標の達成度を自己分析し、次年度の保育の資質向上に向けた取組がなされていた。

(みずきが丘道伯幼稚園)

各職員が、年度初めに、それぞれ担当する学年・年齢に合った園の教育目標を理解し、自己評価目標を定め、日々の保育に努め、学年末に自ら自己反省をし、目標の達成度を自己分析し、次年度の保育の資質向上に向けた取組がなされていた。

評価者:古市 満俊

評価日:令和2年2月26日

【教育課程・指導】建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況について

カリキュラムの見直しを逐次行い、教職員間の教育目標についての共通理解を図りながら進歩した保育に努められています。職員は基より、園児のレベルアップにも寄与しますので、指導力の進化に大きく期待できます。

【教育課程・指導】幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況

小学校とも連携し、小学校へのスムーズな接続を目指し、幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿を各教師が理解し、子ども一人ひとりの個性を尊重しながら、次への引き継ぎに努力されています。

【組織運営】職員会議等の運営状況

熟練教師から新米教師まで、幅広い教師層の中、全体の職員会議、主任会議、毎日の保育終了後のミーティング等、教師間で意思決定や助言等が活発に行われており、全体のレベルアップへ重要な活動を実施されており、日々の進化に期待します。

【資質向上の取組】

教職員での各会議での大きな目標から、各職員の目標まで、活動の振り返りを基に、日々、取り組まれており、毎年の園全体のレベルアップを認識致します。

令和元年度 学校関係者評価

評価者:高田 直哉

評価日:令和2年3月9日

道伯幼稚園

【教育課程・指導】建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況について

人格形成を常に念願におきながら、教育・指導を行う事は難しく、苦勞されていると思います。また、家庭で教えるべきことを幼稚園に押し付ける保護者も少なからずいると思います。そんな中、一人ひとりに合った目標を細かく設定し、生活習慣等、人としての基礎をしっかりと身につけさせていただきたい。

【教育課程・指導】幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況

園児の成長過程を記す要録の活用、保護者に交えた面談、小学校教諭との小学校における課題等についての意見交換等、様々な工夫をされています。これからも特性を丁寧に記しながら、連携を円滑に行っていただきたい。

【組織運営】 職員会議等の運営状況

月1回の主任会議により、道伯幼稚園・みずきヶ丘道伯幼稚園との意見交換が行われており、幼稚園のスムーズな運営に際し、かなり有効な手段であると見受けられる。ミーティングにおいても、色々な意見、発言を促すことができるシステム、雰囲気作りを行い、上質な職員会議を行うようお願いしたい。

【資質向上の取組】

外部研修、様々なカリキュラムを積極的に取り入れて頂いております。これからは、幼稚園運営の仕組、体制が変わっていく中で、適応していくことが困難な場面も発生してくると思います。そんな場面に際しても、モチベーションを維持できるよう職員同士のコミュニケーションをとりながら、乗り越えていただきたい。

みずきが丘道伯幼稚園

【教育課程・指導】建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況について

各学年主任の月案に沿って、偏りのない教育を行っていただいている。PDCA サイクルを用いながら、より質の高い教育目標に基づいた運営を目指していただきたい。

【教育課程・指導】幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況

保護者との連携、職員間の相談、情報共有を行い、要録の記入活用をしていただいています。小学校教諭との意見交換の場を設け、円滑な接続をお願いしたい。

【組織運営】 職員会議等の運営状況

職員会議がスムーズに行われるよう、アジェンダの明確化を行い、会議を簡素化し、有用な時間としていただきたい。

【資質向上の取組】

各個人で目標設定し、目的意識を持ち、教育を行っている。これから更に縦横の繋がりを持ち、コミュニケーションをとりながら資質の向上に努められたい。

令和元年度 学校関係者評価

評価者:大久保 竜治

評価日:令和2年3月11日

【教育課程・指導】建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況について

道伯幼稚園

年度初めに設定した目標に沿って取り組んできたことが読み取れます。目標意識を持って活動されているようです。

みずきが丘道伯幼稚園

知・徳・体 調和のとれた人格形成を建学の精神として日々努力されてきたようです。

【教育課程・指導】幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況

道伯幼稚園

幼児のうちに習得しておきたい項目を絞って取り組まれたようです。

みずきが丘道伯幼稚園

スムーズに小学校生活に入れるように取り組んでこられたようです。

【組織運営】 職員会議等の運営状況

道伯幼稚園

会議目標が予め決まっていることで、意識して効率的に活動してきたようです。

みずきが丘道伯幼稚園

毎年スタッフに変動がある中、如何にして質の向上をしていけるか。永遠のテーマですが、頑張ってください。

【資質向上の取組】

道伯幼稚園

教育というすぐに結果が出ない職種でも、PDCA サイクルを繰り返してレベルアップを目指したようです。

みずきが丘道伯幼稚園

一般企業では、数値目標を設定して達成率0%といった取り組みをしますが、数値化が難しい業種と思いますので、日々、意識して下さい。